

第64号 令和6年3月発行



一般社団法人
全国ママさんバレーボール連盟
〒631-0823 奈良市西大寺国見町1丁目6番5号 明光ビル202号
TEL 0742-47-7090 FAX0742-47-7099

明るい輪

変化を恐れず改革の年に

中西会長インタビュー



一般社団法人 全国ママさんバレーボール連盟

代表理事・会長 中西 壽子

ーコロナ禍から抜け出して2年目の2024年は社会全体、スポーツ界全体とともに、ママさんバレーボールにとっても変革の年と言えそうです。その背景を理解する上でも、23年を振り返ってください。

まずは1月1日に起きた能登半島地震の被災者のみなさまに衷心よりお見舞いを申し上げます。東日本大震災や熊本地震などに比べても、私

たちが取り組むシニアスポーツの間たちも多くが犠牲になったり、困難な避難生活を送っておられたりも聞いております。

私たちは過去に起きた大きな自然災害の際には各地の連盟と手を取り合って支援の動きを働きかけてまいりました。こんにちにふさわしい支援の方法を全国のみなさまと考えていければと思っております。またご相談の機会を設けさせていただきます。

さて23年は無事に6つの大会とイベントを開催することができました。担当地域の連盟やその関係者のみなさまに感謝申し上げます。移動や旅行に制限がつきまとい、これまでスタンドでの応援ができなかった家族や友人の歓声が体育館に響くさまが本当に懐かしくも愛おしく、平時のありがたさを身に染みて感じさせられました。

そうした感慨とともに抱いた思いがもう一つあります。年齢にかかわらずない全体的な競技力の向上と勝利への意欲です。

夏にある全国ママさんバレーボール大会は言うにおよばず、冬季大会を改称して開いた「愛・チャンピオンズリーグ」では、全国ママさん大会で勝ち残った3地区のチームがそ

試合がフルセットにもつれ込む熱戦を展開。僅差で推移するラリーに、文字通り手に汗を握る試合内容となりました。また60歳以上のことぶき大会、70歳以上のおふく大会も発足時には予想もつかなかったレベルの試合が続出しました。

授ける目的で「ナンバー1」を決めない方式で大会を行ってきましたが、参加選手のみなさまの勝利への意欲をひしひしと感じ、評価の対象を拡げる時期が来たのかなという思いを強くいたしました。また年々レベルの高まるシニア大会も、年齢制限の枠を見直す必要も感じております。そうした思いを強くした1年でした。

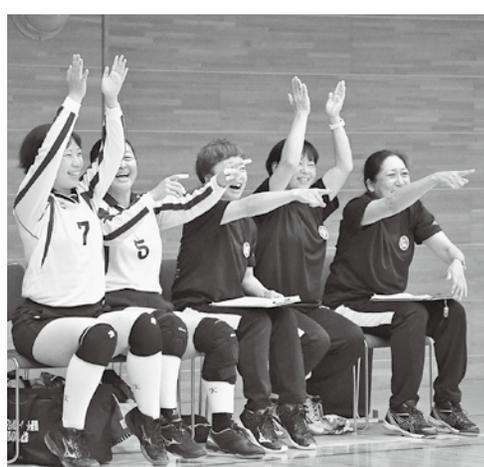
ー具体的にはどのような変更になるのでしょうか。

ここ数年慎重に協議を重ねる中で、これまで50歳以上としていたいそじ大会を55歳以上に、ことぶき大会を65歳以上に、変えることを決め

ました。人生100年と言われるひさしく、健康年齢が大きく引き上がったことが大きな要因です。

全国ママ大会と愛・チャンピオンズリーグは、元気なママさんバレーの日本一、チャンピオンを決するレベルの高い大会になることを期待しつつ、改めて決勝大会をもうけて「ナンバー1」を決めることも検討しています。

ー前者については、50代前半の選手たちに戸惑いが広がります。全国の参加資格は原則55歳以上としますが、5年間の移行期間をつくって、何らかの形でいまままで、いそじ大会に向けて準備を進めてきたチーム・選手を救済する手立てを考えています。この年齢制限の変更によって、いそじ大会に60歳代前半の選手が参加したり、愛・チャンピオンズリーグにできるだけ50歳代前半の選手が参加したり、より現状の競技力に即した効果が得られると確信しています。ご理解いただければと思います。またママさんバレーボールのガイドラインの1ページ目、「競技会」の部分の改訂も進めていくことをここに申し添えておきます。



— 主な改革 —

- 1 会員登録料徴収方法整理
- 2 大会参加年齢制限見直し
- 3 大会参加料見直し

れています。
 会員のみなさまも等しく実感されておられる通り、諸物価の高騰は深刻です。郵送料など通信関係費のアップや大会にかかる諸設備の原価高騰による価格向上

— 登録費の徴収方式も再確認する年になります。

登録費をおさめていただく方には大きな変更と、うけとめられるかもしれません。ただ、もともと連盟登録は個人登録が原則でした。利便性を重視して加盟団体が会費徴収を代行していたのが現実です。それをいったん整理させていただいたとご理解いただければ幸いです。会員登録料の徴収方法を会員それぞれが払込票で支払うことで、振込手数料を加盟団体や会員個人が負担しないで済みます。その負担は全国連盟が引き受けます。また加盟団体の業務の負担軽減や徴収にもなうリスクも軽減されます。また会員に仲間意識が根付き、会員資格で受けられるメリットや情報が行き届くこともなります。



年間三千三百円は、現況にともなった最低限度の受益者負担とお考えください。
 — 大会参加費の見直しも検討さ

などにより、大会開催や連盟運営もそこから免れません。諸経費の値上がりも連動しています。この状況下で、大会が安全安心に運営されることを第一義に考えたとき、各チームにご負担いただく参加料のアップは避けられません。置かれた状況をご承知の上でご理解いただいていることと思っております。
 — その分、メリットも増えるのでしょうか。

ママさんバレーボールを楽しく安全にプレーできるという環境そのものが知的財産と言えるのではないのでしょうか。会費と同様にそうしたメリットを得るための自分自身の資質向上に対する投資とお考えいただけます。ただ、付加価値をつけることを同時に考えており、大会に参加される選手のみなさんの思い出に残るようなサプライズなど今までのない試みを打ち出していきたいです。連盟でもいま話し合っているところですので、みなさんのご意見もお聞かせいただきたいと思います。
 — 最後にあらためて改革への思いをお聞かせください。

少子化と人口減にともなう競技人口の減少は各競技団体にとって避けて通れない道です。それだけに時代の変化に即した対応のスピードが必要になります。変化を恐れる組織は沈みます。私たちは半世紀の伝統を持つママさんバレーボールの仲間と手を携えて、生活を豊かにし、社会と日本を元気にする組織をめざし

ます。
 志を共にするみなさまへ。玄関はいつでも開いています。ママさんバレーという生涯スポーツを通じて、「世界に類のないママさんバレー」

の真髄に向かって共に前進するお仲間が集まってくれ、心から願っております。みなさんの忌憚のない声を私たちに聞かせいただければ幸いです。



能登半島地震の被災者のみなさまに
 心よりお見舞い申し上げます

一般社団法人 全国ママさんバレーボール連盟



2023年 事業報告



2023年度普及委員研修会

4月20日(木)～21日(金) 奈良市 参加者：23人

ま〜みんフェスタV01.8

5月12日(金)～13日(土) 宮古市 参加者：約129人
2018年に始まり、個人・家族でも参加できるお祭りとして観光や地域交流も図るイベントの舞台は宮古島。参加者は青い海と豊かな自然の中で人と人とのふれあいを楽しんだ。

2023年度全国理事長会

全国ママさんバレーボールリーダーシップフォーラム

6月1日(木) 奈良市 参加者：60人

桐田寿子氏講演「つなげよう心」

第54回全国ママさんバレーボール大会

8月24日(木)～27日(日) 檀原市、五條市 参加36チーム

コロナ禍を乗り越えて4年ぶりの本格開催になった大会は奈良県で熱戦を展開。決勝に勝ち残った地元の奈良が粘る福井を下したほか、埼玉と愛知2が優勝した。

第28回全国ママさんバレーボールことぶき大会

9月19日(火)～21日(木) 福島市 参加36チーム

60歳以上の選手約500人が2日間に渡って福島市のあづま総合体育館で親善交流試合4試合を消化。4戦全勝したのは大阪、福岡、宮崎、新潟、熊本、兵庫の6チームだった。

第13回愛・チャンピオンズリーグ

10月19日(木)～22日(日) 大津市 参加30チーム

冬季大会から改称した年齢無制限のトーナメントは滋賀ダイハツアリーナを舞台に熱戦の連続で、全国ママさんで優勝した奈良、埼玉、愛知の3チームが「夏秋連覇」を飾った。

第8回全国ママさんバレーボールおふく大会

11月21日(火)～22日(水) 福井市 参加31チーム

70歳以上の参加選手が動きのあるバレーボールで熱戦を展開。2日間の交流試合4試合で岐阜など6チームが全勝を記録した。



全国ママさんバレーボール大会



全国ママさんバレーボールことぶき大会

第35回全国ママさんバレーボールいそじ大会

11月23日(木)～25日(土) 福井市 参加36チーム

おふく大会に引き続き開催。全国ママさん、愛・チャンピオンズリーグと比べても遜色のないレベルの試合が続出。白熱のラリーの末、熊本など3チームがブロック優勝を飾った。

子ども向けのキッズサークルを開催!

ことぶき大会2日目の夜の空きコートで「愛・チャンピオンズリーグキッズサークル」を開催。普段から会場を使用している体操教室の小学生とボールに親しんだ遊びを通して交流を図り、普及に一役買った。397人の参加者がママさんのバレーボールを使ったトレーニングや「キヤッチバレー」を楽しみ、チーム対抗のメニューではチームスポーツの大切さも学んだ。

地元ボランティア団体が

初の運営協力

ことぶき大会では、開催地域の連盟の負担をすこしでも軽減するための初の試みとして、福島市に本部を置くスポーツボランティア団体「うつくしまスポーツボランティア」が運営をサポート。全国連盟普及委員の柴田智恵美さんは「サポートスキルが高いスポーツボランティアのおかげで助かりました。大会

運営以外にも穴場観光スポットや地元ならではのグルメ情報を教えていただいたりして、選手だけでなく役員としても大変良い交流ができました」と振り返る。同団体は大会会場で観光や食などの魅力を地元民ならではのガイドで参加チーム向けに発信。参加者の満足度アップのサポートもいただいた。



ま〜みんフェスタ



全国ママさんバレーボールいそじ大会



愛・チャンピオンズリーグ



全国ママさんバレーボールおふく大会

連盟だより 北から南から

★東北盛り上げに奮戦

2023年度は山形県のフラワーズが全国ママさんバレーボール大会、愛・チャンピオンズリーグ、いそじ大会の予選会を勝ち抜き、3つの全国舞台で奮闘。山形のママさんバレーを盛り上げてくれました。普及委員としては、東北各県と連携しながら、東北のママさんバレーを盛り上げようがんばっています。

コロナ対策の独自のガイドラインをもうけたほか、泊りがけで試合と懇親会を行うシニアの大会では個人参加の枠を設けました。チームの参加者が少なく「試合に出たくとも出られない」と上がった声に応えようというものです。その結果、県内から48人が個人参加し、4チームを編成して参加することができました。

現在の登録は67チーム。時代の流れで減少傾向にはありますが、全国連盟の改革に伴って県内のチームと会員には丁寧にご説明をして理解を得られたと思っております。ここまで絶やさずにきた生涯スポーツであるママさんバレーボールの伝統を忘れずに、県内外で

★離島の元気を全国へ

私たちの地元・長崎は島も多くて交通の便があまりよくない土地です。全国大会に出場するのもなかなか大変ですが、その分エネルギーだけはどこにも負けません。2022年度のいそじ大会に出場したNANAMECは上五島という島にある小さな郷のチームで

また大会ができない期間にも、「ま〜みんフェスタスマイルキャラバン」の一環として、日帰りイベントを開催。40歳以上という制限で開催しましたが、人数が少ないチームは合併などの工夫で参加し、1000人を超える参加者で

独自の工夫で盛り上げ 各連盟からの声

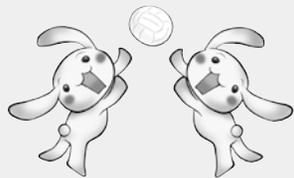
すが、24年度も55歳以上で全国いそじ大会をめざすと張り切っています。島や半島のチームもあることもあり、あらゆるチームが参加しやすいように、柔軟な大会運営を心がけています。コロナ禍でも、「最低限のチームが集まれば開催する」という信念で事業を工夫しながら続けてきて、50チームの登録数は大きく減少せずに乗り切りました。

恵まれない環境でも懸命に活動するママさんたちを地域ぐるみで応援する文化が長崎には色濃くあります。そうした発信を続けて盛り上げていきたいと思っています。長崎県ママさんバレーボール連盟



2024年度 事業開催予定

- 2024年度 リーダーシップフォーラム**
 開催期日 2024年4月23日(火)
 開催地 奈良県奈良市
- 第9回 Volleyball 2024 ま〜みんFesta Vol.9**
 開催期日 2024年6月7日(金)~8日(土)
 開催地 兵庫県洲本市
- 第55回 全国ママさんバレーボール大会**
 開催期日 2024年8月1日(木)~4日(日)
 開催地 滋賀県大津市
- 第36回 全国ママさんバレーボールいそじ大会**
 開催期日 2024年9月18日(水)~20日(金)
 開催地 福島県猪苗代町
- 第29回 全国ママさんバレーボールことぶき大会**
 開催期日 2024年10月11日(金)~12日(土)
 開催地 岩手県花巻市
- 第9回 全国ママさんバレーボールおふく大会**
 開催期日 2024年10月13日(日)~14日(月・祝)
 開催地 岩手県花巻市
- 第14回 愛・チャンピオンズリーグ**
 開催期日 2024年11月25日(月)~28日(木)
 開催地 岐阜県岐阜市



編集後記

コロナ後初めての「明るい輪」の発行、大変お待たせいたしました。ようやくお届けすることができて感謝感激です。感染症に翻弄されたこの数年間、全国大会の開催もままならないなかで、それぞれの置かれた環境で持ち堪え運営をしてこられたリーダーのみならず心に敬意を表します。ここ数年で情報の発信も大きく変わりましたが、ママさんバレーボールの普及のため、広報活動にもますます力を注いでいきます。

今年是全国ママさんバレーボール大会が生まれて55年。GOGO!ママさんバレー!! (広報担当)

写真提供 (株)プロフォトサニー